

連携シート（A表）

1 教育課程（A表）の留意事項

- ・教育課程（A表）は、当該学年と同じ教育課程に「自立活動」を取り入れる場合や下学年の教科の目標・内容に替えて教育課程を編成する場合などに使用する。
- ・学習評価は、小学校学習指導要領に示す当該学年又は適用した学年の各教科の目標に準拠して評価する。
- ・目標を達成するために、支援の手立てを明確にし、関係教員が共通理解を図ることが重要である。

2 記入の仕方

(1) 様式1（エクセルシート）を記入する。

- ・学校生活全般における児童の特徴、教科に関する児童の特徴、短期目標、支援の手立てを記入する。
- ・個別の指導計画を作成している場合は、個別の指導計画から転記したり、一部省略したりしてもよい。また、個別の指導計画を代用してもよい。

(2) 様式2（エクセルシート）を記入する。

様式2－1「学期用」と様式2－2「単元（題材）用」のうち、活用しやすい様式を選んで記入する。

ア 単元（題材）名を記入する。

イ 教科の単元（題材）の目標を記入する。

ウ 支援の手立てを記入する。

- ・必要な支援を別表「支援例一覧表」から選び、その番号を入力する。番号を入力すると自動的に支援の手立てが表示される。
- ・「支援例一覧表」に適当な支援の手立てがない場合は、「支援例一覧表」の追加事項に支援の手立てを記入する。その後、その番号を入力すると自動的に支援の手立てが表示される。

※ 新しい支援の手立てを入力する場合は、必ず1学期のシートの「支援例一覧表」に入力する。

エ 学期ごとに観点別学習状況の評価及び評定を記入する。

オ 自由記述の欄に児童の授業における様子（したこと、できるようになったこと、課題など）を必要に応じて記入する。